



安全データシート

Copyright, 2017, 3M Company

All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	26-6951-3	版	8.00
発行日	2017/11/24	前発行日	2016/07/14

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3M[™] ウルトラファイナ[™] コンパウンドプレミアム 5949, 35949

3M スtockナンバー

JC-1700-1534-4

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分3

皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 区分2

皮膚感作性物質： 区分1

水生環境有害性（急性）： 区分3

水生環境有害性（長期間）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

炎 感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H226	引火性液体及び蒸気。
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H412	長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き

安全対策

P210	熱／火花／裸火／高温物体のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P233	容器を密閉しておくこと。
P280E	保護手袋を着用すること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
-------------	-----------------------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

熱傷を起こすことがある。 可燃性粉塵濃度に達することがある。

3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	重量%
酸化アルミニウム	1344-28-1	40 - 50
水	7732-18-5	20 - 30
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	5 - 13
湿潤剤	営業秘密	5 - 9
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	3 - 6
溶融あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	112945-52-5	0.1 - 5
水添脱硫灯油（石油）	64742-81-0	1 - 4
潤滑剤	営業秘密	1 - 3

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の冷水で15分以上皮膚を洗浄する。付着した溶解物を無理に剥がそうとしてはいけない。患部を清潔な布で覆い、直ちに医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに大量の水で、少なくとも15分間眼を洗う。溶解した物質を除去してはいけない。すぐに医学的注意を手に入れる。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。 粉塵は爆発性混合気を生じることがあるので、浮遊粉塵を生じるような方法で消火しない。

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火災にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 粉塵の空気中への放出を避ける。(圧縮空気によるブロー等) 粉塵の発生をさけるために電気掃除機を使う。注意：モーターは着火源になり得る。 金属製の容器に収納する。 洗剤と水で残さを清浄にする。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

熱した材料に触れないこと。 工業用又は専門家用に使用を限定する。 密閉された換気不良の場所で使用しないこと。 熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後は手指をよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける(塩素、クロム酸等)。 静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。 輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。 加工中に可燃性粉塵が発生することがある。 粉塵は着火源があると爆発することがある。 可燃性粉塵が蓄積しないように定期的に清掃する。 移送や混合により帯電すると点火源となる。アース接地、接合、低速・短距離輸送などの低エネルギー輸送法、不活性環境などの注意喚起の必要性を検討する。 本製品の使用により可燃性粉塵が生じることがある。 本製品から発生する粉塵は、粉塵の濃度、点火源などの存在により爆発を引き起こすことがある。製品表面に粉塵が溜まったまま放置しないようにする。 蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

保管

換気の良い場所で保管する。涼しいところに置くこと。 容器をしっかり密閉しておくこと。 日光から遮断すること。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA (呼吸性ダストとして) (8時間) : 0.5mg/m ³ 、 TWA (総ダストとして) (8時間) : 2mg/m ³	

不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA (呼吸性分画) : 1mg/m ³	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない
水添脱硫灯油 (石油)	64742-81-0	ACGIH	TWA (トータル炭化水素蒸気、非エアロゾルとして) : 200 mg/m ³	A3: 確認された動物発がん性因子, 経皮吸収性
ストッダード溶剤	64742-82-1	ACGIH	TWA : 100 ppm	
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	1 : 発がん性が確認された物質
鉍物油、高精製油	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
鉍物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA (吸入分画) : 5 mg/m ³	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

切削、研削、研磨、旋削時に適切な局排換気を行う。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。防爆換気装置を使用する。粉塵を作業エリアから除外するために、粉塵発生源の付近に局所廃棄装置を設置する。粉塵の除外システム、搬送システム、加工機などの防爆性がどうかを検討する。爆発時の逃し弁、爆発防止、酸素遮断などの必要性を検討する。排気ダクト、集塵機、処理装置など、作業環境へのダスト流入防止システムがあることを確認する。防爆電気機器の必要性について検討する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具

を選択する。
有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形ろ過式マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

熱危険性

やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	エマルジョン
形状、色、臭い	溶剤臭、白色
臭いの閾値	データはない。
pH	7.5 - 9.5
融点・凝固点	適用しない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	58.1 °C [試験方法: クローズドカップ法] [詳細: セタ]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度	データはない。
密度	1.33 g/cm ³
比重	1.33 [参照基準: 水=1]
溶解度	中程度
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度	40,000 - 60,000 mPa-s

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

火花ないし炎

混触危険物質
強酸化性物質

危険有害な分解物
物質

炭化水素類
一酸化炭素
二酸化炭素

条件

特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

加熱中：

熱傷： 激しい痛み、発赤、腫脹、組織の破壊などの症状。

加熱したのから発生する蒸気は、眼を刺激することがある。切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんは眼を刺激する。症状は発赤、腫脹、痛み、催涙及び視力低下など。

皮膚に付着した場合

加熱中：

熱傷： 激しい痛み、発赤、腫脹、組織の破壊などの症状。

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。加熱したのから発生する蒸気は、呼吸器系を刺激することがある。切断、研磨、機械加工によって発生する粉じんは呼吸器系を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、しわがれ声、喘鳴、呼吸困難、鼻と喉の痛み、吐血など。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

3M[™] ウルトラファイナ[™] コンパウンドプレミアム 5949, 35949

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入－粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入－蒸気		LC50 推定値 20 - 50 mg/l
水添脱硫重質ナフサ (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
水添脱硫重質ナフサ (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
湿潤剤	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
湿潤剤	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水添脱硫灯油 (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
水添脱硫灯油 (石油)	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 5 mg/l
水添脱硫灯油 (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
潤滑剤	皮膚		LD50 推定値 > 5,000
潤滑剤	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000
溶融あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
溶融あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	吸入－粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
溶融あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
界面活性剤	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
界面活性剤	経口摂取	ラット	LD50 > 38,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
水添脱硫重質ナフサ (石油)	ウサギ	刺激物
湿潤剤	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	刺激性なし
水添脱硫灯油 (石油)	ウサギ	わずかな刺激
潤滑剤	ヒト	わずかな刺激
溶融あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
水添脱硫重質ナフサ (石油)	ウサギ	刺激性なし
湿潤剤	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	軽度の刺激
水添脱硫灯油 (石油)	ウサギ	刺激性なし
潤滑剤	ウサギ	軽度の刺激
溶融あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	ウサギ	刺激性なし

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水添脱硫重質ナフサ（石油）	モルモット	区分されない。
湿潤剤	モルモット	区分されない。
ホワイトミネラルオイル（石油）	モルモット	区分されない。
水添脱硫灯油（石油）	モルモット	区分されない。
潤滑剤	ヒト	区分されない。
溶融あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	ヒト及び動物	区分されない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
水添脱硫重質ナフサ（石油）	In vivo	変異原性なし
水添脱硫重質ナフサ（石油）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホワイトミネラルオイル（石油）	In vitro	変異原性なし
水添脱硫灯油（石油）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
水添脱硫灯油（石油）	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
潤滑剤	In vitro	変異原性なし
潤滑剤	In vivo	変異原性なし
溶融あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
水添脱硫重質ナフサ（石油）	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
湿潤剤	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホワイトミネラルオイル（石油）	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル（石油）	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
水添脱硫灯油（石油）	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
溶融あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	器官発生期

3M[™] ウルトラファイナ[™] コンパウンドプレミアム 5949, 35949

湿潤剤	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2 世代
湿潤剤	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2 世代
湿潤剤	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2 世代
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	13 週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	13 週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	妊娠期間中
水添脱硫灯油 (石油)	皮膚	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 494 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
水添脱硫灯油 (石油)	皮膚	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 494 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
水添脱硫灯油 (石油)	皮膚	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 494 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
水添脱硫灯油 (石油)	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 400 ppm	器官発生期
溶解あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 509 mg/kg/day	1 世代
溶解あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 497 mg/kg/day	1 世代
溶解あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入した場合	神経系	区分されない。	イヌ	NOAEL 6.5 mg/l	4 時間
水添脱硫重質ナフサ (石油)	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
水添脱硫灯油 (石油)	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
水添脱硫灯油 (石油)	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	非該当
水添脱硫灯油 (石油)	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
水添脱硫灯油 (石油)	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 非該当	適用しない。
水添脱硫灯油 (石油)	経口摂取	肝臓	区分されない。	ラット	LOAEL 18,912 mg/kg	適用しない。
水添脱硫灯油 (石油)	経口摂取	心臓 造血システム	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム	吸入した	塵肺症	陽性データはあるが、分類に	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

3M[™] ウルトラファイナ[™] コンパウンドプレミアム 5949, 35949

	場合		は不十分。		当	く
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入した場合	神経系	区分されない。	ラット	LOAEL 4.6 mg/l	6 月
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	LOAEL 1.9 mg/l	13 週
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入した場合	呼吸器系	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入した場合	骨、歯、爪及び/ 又は毛髪 血液 肝臓 筋肉	区分されない。	ラット	NOAEL 5.6 mg/l	12 週
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入した場合	心臓	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 1.3 mg/l	90 日
湿潤剤	吸入した場合	呼吸器系 心臓 肝臓 腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
湿潤剤	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	造血器系	区分されない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	肝臓 免疫システム	区分されない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日
水添脱硫灯油 (石油)	皮膚	造血器系	区分されない。	マウス	NOAEL 500 mg/kg/day	13 週
水添脱硫灯油 (石油)	皮膚	肝臓 免疫システム 腎臓および膀胱	区分されない。	マウス	NOAEL 500 mg/kg/day	2 年
水添脱硫灯油 (石油)	皮膚	神経系	区分されない。	マウス	NOAEL 2,700 mg/kg/day	1 週
水添脱硫灯油 (石油)	皮膚	心臓 筋肉 呼吸器系	区分されない。	マウス	NOAEL 500 mg/kg/day	2 年
水添脱硫灯油 (石油)	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 非該当	1 年
水添脱硫灯油 (石油)	吸入した場合	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 0.231 mg/l	14 週
水添脱硫灯油 (石油)	吸入した場合	心臓	区分されない。	モルモット	LOAEL 20.4 mg/l	非該当
水添脱硫灯油 (石油)	吸入した場合	造血器系 筋肉 呼吸器系	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 0.1 mg/l	13 週
潤滑剤	経口摂取	心臓 造血器系 肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 4,800 mg/kg/day	13 週
潤滑剤	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	マウス	NOAEL 13,000 mg/kg/day	13 週
溶融あるいは合成、非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入有害性
ホワイトミネラルオイル (石油)	吸入有害性
水添脱硫灯油 (石油)	吸入有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	魚	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度は観察されない。	>100 mg/l
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	甲殻類	実験	96 時間	EC50	2.6 mg/l
湿潤剤	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	54,000 mg/l
湿潤剤	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,955 mg/l
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	致死レベル 50%	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	>100 mg/l
熔融あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	112945-52-5	ミジンコ	実験	24 時間	EC50	>100 mg/l
熔融あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	112945-52-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
熔融あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	112945-52-5	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
熔融あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	112945-52-5	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度は観察されない。	60 mg/l
水添脱硫灯油（石油）	64742-81-0	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>1 mg/l
水添脱硫灯油（石油）	64742-81-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.4 mg/l
水添脱硫灯油（石油）	64742-81-0	ニジマス	推定値	96 時間	致死レベル 50%	>2 mg/l
水添脱硫灯油（石油）	64742-81-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEL	0.48 mg/l

3M[™] ウルトラフィナー[™] コンパウンドプレミアム 5949, 35949

水添脱硫灯油（石油）	64742-81-0	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	1 mg/l
潤滑剤	営業秘密	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
界面活性剤	営業秘密	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
界面活性剤	営業秘密	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	58.84 mg/l
界面活性剤	営業秘密	カイアシ類	推定値	48 時間	致死レベル 50%	>10,000 mg/l
界面活性剤	営業秘密	緑藻類	推定値	72 時間	有効濃度 10%	19.05 mg/l
界面活性剤	営業秘密	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	10 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	75 重量%	OECD 301F
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	推定値 光分解		光分解半減期（空气中）	12.99 日 (t _{1/2})	別法
湿潤剤	営業秘密	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
溶解あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	112945-52-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
水添脱硫灯油（石油）	64742-81-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
潤滑剤	営業秘密	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	64 重量%	OECD 301D - クローズドボトル法
界面活性剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	61 重量%	別法

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	実験 生態濃縮		生物濃縮係数	>1000	別法
湿潤剤	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.76	別法
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
溶解あるいは合成、非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	112945-52-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
水添脱硫灯油（石油）	64742-81-0	分類にデータが	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

		利用できない、 あるいは不足し ている。				
潤滑剤	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	7.4	推定値：生態濃縮係数
界面活性剤	営業秘密	分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1993 その他の引火性液体

輸送分類 (IMO) : 3 引火性液体

輸送分類 (IATA) : 3 引火性液体

容器等級 : III

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は、2017年3月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
水添脱硫重質ナフサ (石油)	330 (石油ナフサ)	該当なし。	該当なし。
	551 (ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。))		
ホワイトミネラルオイル (石油)	168 (鉱油)	該当なし。	該当なし。
酸化アルミニウム	189 (酸化アルミニウム)	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令別表第6の2 有機溶剤
労働安全衛生法：施行令18条有害物質（表示物質）
消防法：指定可燃物（可燃性液体類）
船舶安全法、航空法：引火性液体類
労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

16. その他の情報

改訂情報

セクション1：所在地 情報修正。
セクション1：担当部門名 情報修正。
セクション2：環境影響ステートメント 情報修正。
セクション2：GHS分類 情報修正。
セクション2：健康有害性 情報修正。
セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正。
セクション2：注意書き - 廃棄 情報修正。
セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正。
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正。
セクション2：注意書き - 保管 情報修正。
セクション2：注意喚起語 情報修正。
セクション2：ラベル要素の追加GHS情報 情報修正。
セクション3：成分表 情報修正。
セクション3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報の削除。
セクション4：応急措置（急性・遅発性症状） 情報修正。
セクション4：応急措置 - 医療機関への報告（REACH/GHS） 情報修正。
セクション4：応急措置（眼に入った場合）の情報 情報修正。
セクション4：応急措置（飲み込んだ場合）の情報 情報修正。
セクション4：応急措置（吸入した場合）の情報 情報修正。
セクション4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正。
セクション4：毒性学的影響のテキスト 情報修正。
セクション5：火災時情報（消火法） 情報修正。
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正。
セクション5：火災時情報（特殊有害性） 情報修正。
セクション6：封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正。
セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正。
セクション6：事故漏出時の措置 情報修正。
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。
セクション7：貯蔵情報 情報修正。
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。
セクション8：職業暴露情報 情報修正。
セクション8：眼および顔面保護 情報修正。
セクション8：作業環境許容値 情報修正。
セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正。
セクション8：保護具 - 眼 情報修正。
セクション8：保護具 - 吸入 情報修正。
セクション8：保護具 - 皮膚/体幹 情報修正。
セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正。
セクション8：保護具 - 高温危険性 情報修正。
セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸用保護具のガイド 情報修正。

セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション 8 : 皮膚保護 - 保護衣情報 情報修正.
セクション 8 : 皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
セクション 8 : 皮膚保護 - 推奨する手袋に関するテキスト 情報修正.
セクション 8 : STL記号 情報修正.
セクション 8 : TWA記号 情報修正.
セクション 9 : 沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
セクション 9 : 分解温度 情報修正.
セクション 9 : 融点/凝固点 情報修正.
セクション 9 : 蒸発速度情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼点 (下限) 情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼点 (上限) 情報 情報修正.
セクション 9 : 引火点情報 情報修正.
セクション 9 : n-オクタノール/水分配係数の情報 情報修正.
セクション 9 : 臭気限界 情報修正.
セクション 9 : 臭い、色、グレード情報 情報修正.
セクション 9 : pH情報 情報修正.
セクション 9 : 比重情報 情報修正.
セクション 9 : 溶解性 (水以外) 情報修正.
セクション 9 : 水溶解性のテキスト 情報修正.
セクション 9 : 蒸気密度の値 情報修正.
セクション 9 : 蒸気圧 情報修正.
セクション 10 : 反応性情報 情報修正.
セクション 10 : 有害分解物 情報修正.
セクション 10 : 避けるべき条件 情報修正.
セクション 10 : 有害な分解物の表 情報修正.
セクション 10 : 有害な重合反応の性状 情報修正.
セクション 10 : 避けるべき物質 情報修正.
セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 追加毒性情報のステートメント 情報修正.
セクション 11 : 吸引毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 発がん性の表 情報修正.
セクション 11 : 分類放棄声明 情報修正.
セクション 11 : 表テキストに非開示の成分 情報修正.
セクション 11 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション 11 : 健康影響情報 (眼) 情報修正.
セクション 11 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
セクション 11 : 健康影響情報 (吸入した場合) 情報修正.
セクション 11 : 健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
セクション 11 : 生殖発生影響のテキスト 情報修正.
セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 呼吸感作性のテキスト 情報修正.
セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 12 : 水生生物への急性毒性情報 情報修正.

- セクション 1.2 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
- セクション 1.2 : 危険性の分類 情報修正.
- セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 1.2 : 材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正.
- セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1.3 : 廃棄物の処理ノート 情報修正.
- セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 1.4 : IATA分類の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 1.4 : IMO分類の見出し標準フレーズ 情報修正.
- セクション 1.4 : 国連番号の標準フレーズとテキスト 情報修正.
- セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報修正.
- セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.
- セクション 1.6 : UK放棄声明 情報修正.
- セクション 1.6 : Webアドレス 情報修正.

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。